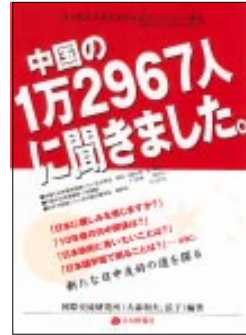


日本僑報

日中関係・華僑華人情報専門紙

編集 / 日中交流文献資料センター 定価 / 300円
〒333-0866 川口市芝5-6-6 TEL048-432-7332 FAX432-7335
http://duan.jp duan@duan.jp 編集長/段 躍中



小社最新刊である『中国の1万2967人に聞きました。』は、7月28日付の日本経済新聞の一面コラム「春秋」に登場した。

日中国交正常化30周年記念特別企画出版

30年間人民日報に登場した日本人の集大成

邦訳版『永遠の隣人 -- 人民日報に見る日本人』発行へ

刊行によせて

中日友好協会会長 宋 健

中日両国国民の祝福の中、我々は中日国交正常化三十周年を迎えることになりました。

一九七二年、中日は国交正常化を実現し、善隣友好関係の新しいページを開きました。孔子は「三十にして立つ」と言いましたが、一九七二年の中日国交正常化からの三十年間、両国政府や民間の心ある方々が共に努力して、中日友好関係は全面的な発展を遂げ、中日交流史上かつてないほど広く深いものとなりました。中日善隣友好は、当代に利をもたらし、恩恵は千秋にまでも及ぶものとなり、その功德ははかりしれません。このことは歴史と実践が証明しています。

中日両国は歴史の事情が違い、体制も異なりますが、重要なのは、我々が友好の大局を重んじ、コミュニケーションをはかり、交流を深め、相互理解を深めることです。「中日関係は長期的な視点で考えて発展させなくてはならない。このことは我々の間のすべての問題を超越して重要」とは小平氏の名言ですが、この言葉は、両国民の心からの支持を得られています。我々は、両国先賢たちの数多くの偉業功績を思い、彼らの切り拓いてきた中日友好の道を大

切にしないでなりません。我々はなお努力し、先人の数々の偉業を受け継いで将来の発展に道を拓き、この道をより広く長くし、中日友好を人々の心に深く浸透させなくてはなりません。これは両国民の子孫に幸福をもたらす事業なのです。

人民日報の方々が、過去三十年間の日本についての報道の中からすぐれた文章を精選し、『永遠の隣人』にまとめて出版することとなりました。この三十年間の歴史の証言とし、後世の人々の鑑とすることは大変意義のあることです。両国民、各界諸賢の平和・友好・善隣・協力へのたゆまぬ追求を、また、三十年間の中日友好協力関係発展の軌跡を、本書から窺い知ることができると思われます。この記念文集が、中日両国民の相互理解を深め、中日関係の健やかで安定した発展を促すものと信じております。

はじめに

人民日報社社長 許中田

中日国交正常化三十周年に際し、『永遠の隣人』と題した、対日報道を集めた一冊を、中国語版と日本語版で皆さんにお読みいただきたいと思います。

本書は、一九七二年から二〇〇二年四月までの三